

河川及びダム建設事業における 事業評価説明資料

〔庄川水系河川整備計画〕
〔利賀ダム建設事業〕

平成20年3月
北陸地方整備局

目 次

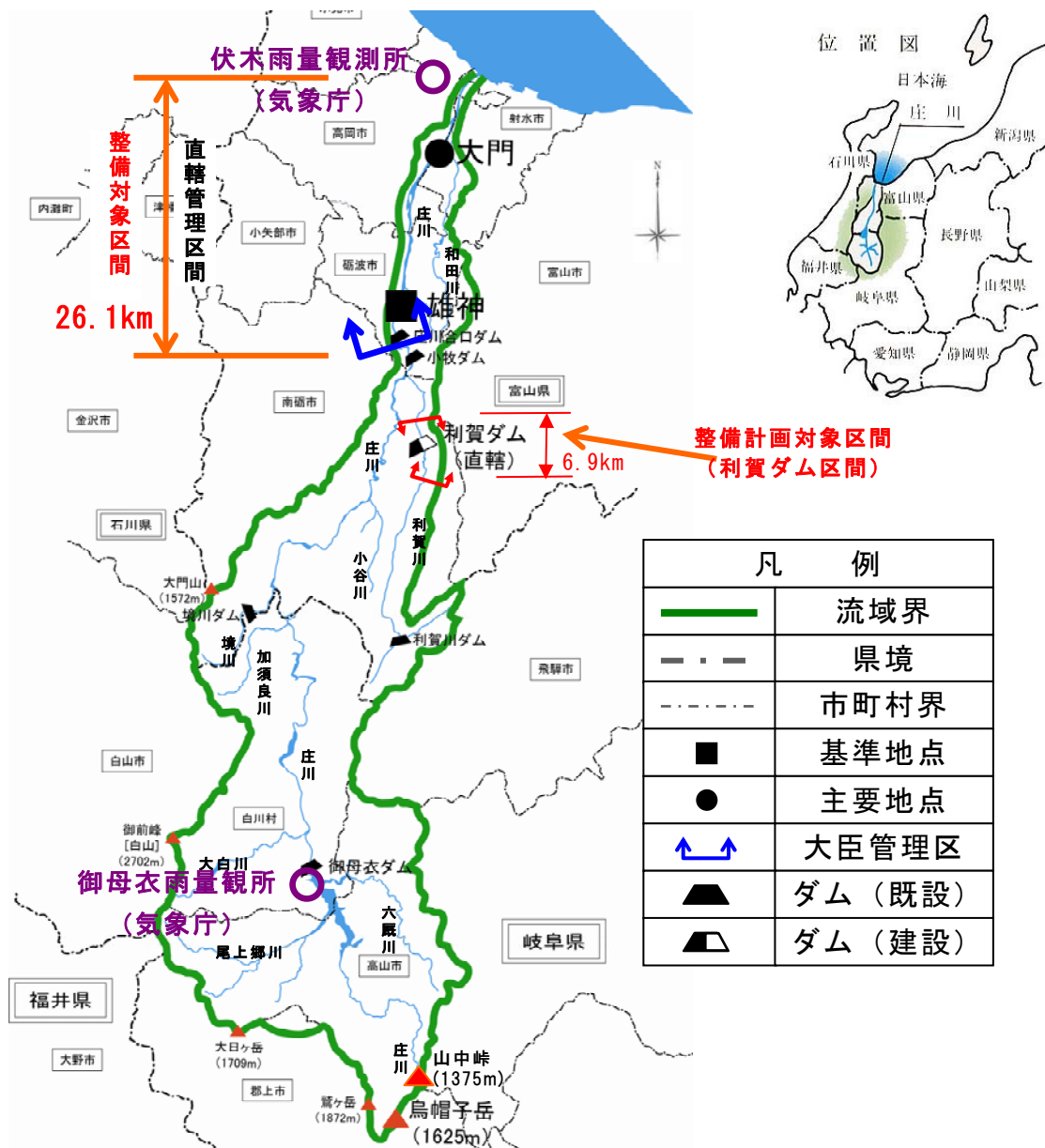
1 河川の概要	
1)流域の概要	1
2)沿川の地形	2
3)主な災害	5
2 事業概要	
1)事業の経緯	9
2)庄川水系河川整備計画の概要(治水)	10
3)現状の主な課題	11
4)河川整備計画における主な事業内容	13
3 事業の投資効果	
1)費用対効果	17
2)評価時点(H19年度末)における被害想定	25
3)コスト縮減の取り組み	26
4 事業を巡る社会情勢	
1)地域の開発状況	28
2)地域の協力体制	29
3)利賀ダム建設に伴う環境調査の経緯	31
5 対応方針(原案)	32

1. 河川の概要

1) 流域の概要

- 水源 : 烏帽子岳 (標高 1,625m)、山中峠 (標高 1,375m)
- 流域面積 : 1,189km²
- 幹川流路延長 : 115km
- 大臣管理区間 : 26.1km
- 流域内市町村 : 7市1村
 [富山県] 高岡市、射水市、富山市、砺波市、南砺市
 [岐阜県] 郡上市、高山市、白川村
- 流域内人口 : 約2.8万人
- 年平均降水量 : 約3,200mm (御母衣雨量観測所 気象庁 1971~2000年平均値)
 約2,300mm (伏木雨量観測所 気象庁 1971~2000年平均値)

庄川流域図



2) 沿川の地形

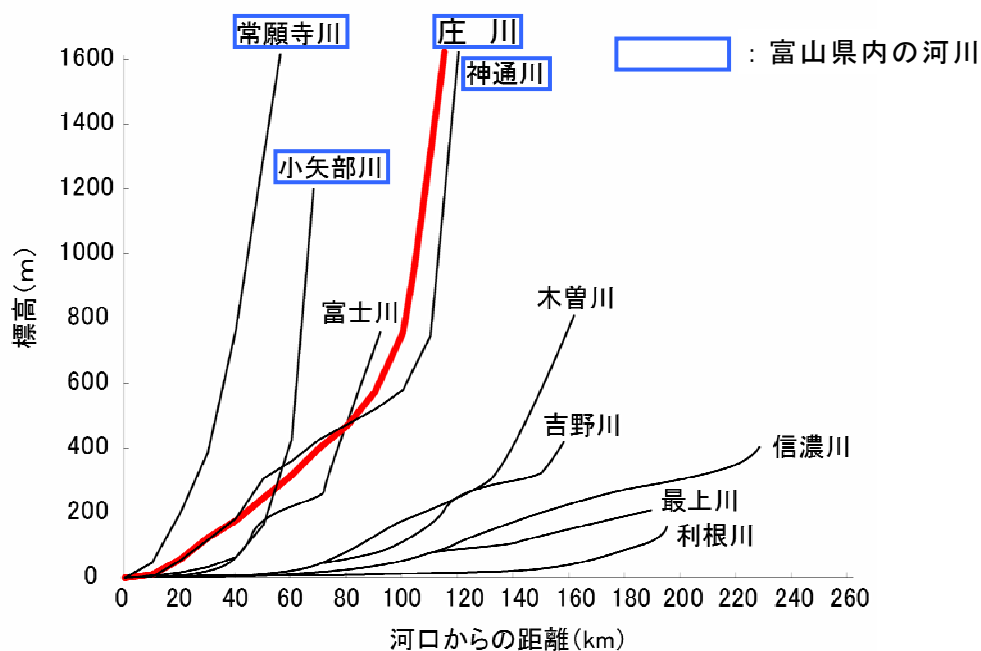
庄川は、山間部を流下したのち、庄川用水合口ダム付近を扇頂とする扇状地を形成し、富山県内一の穀倉地帯である砺波平野及び射水平野を貫流している。このため、庄川が氾濫した場合は、拡散型の氾濫形態となり富山県第2の都市である高岡市をはじめ、広範囲に甚大な被害が及ぶ。

庄川河口より上流を望む

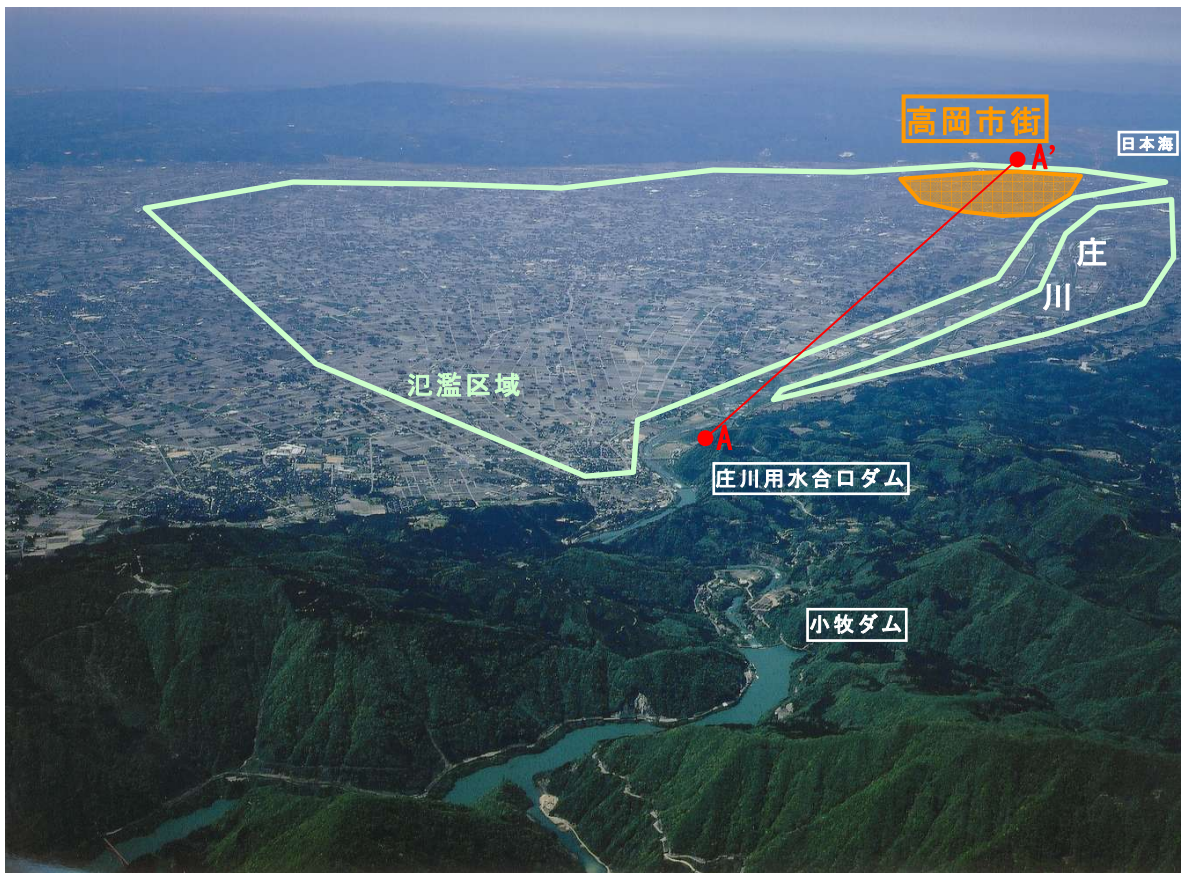


日本の主な河川の縦断図

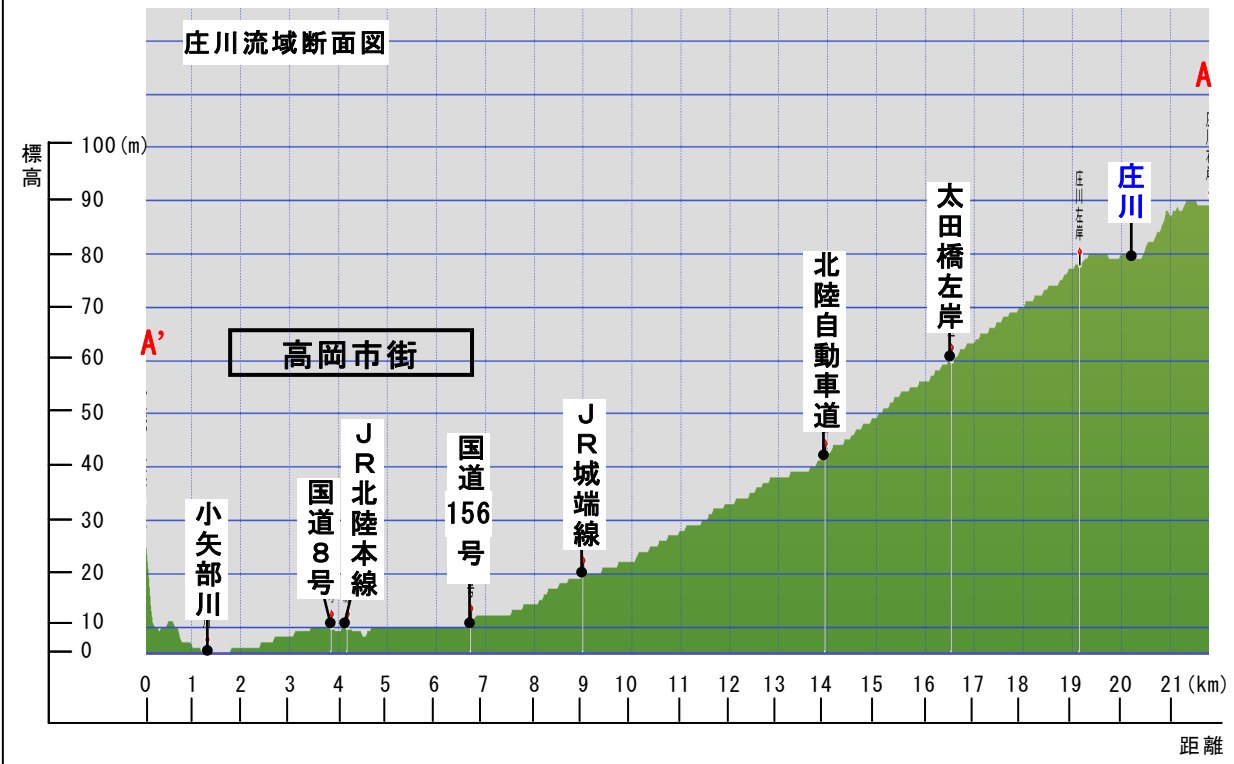
富山県内は急流河川が多く存在し、庄川もその一つ。



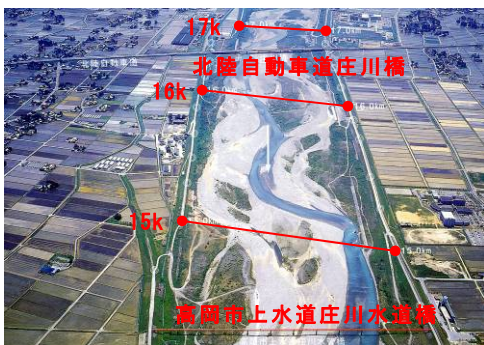
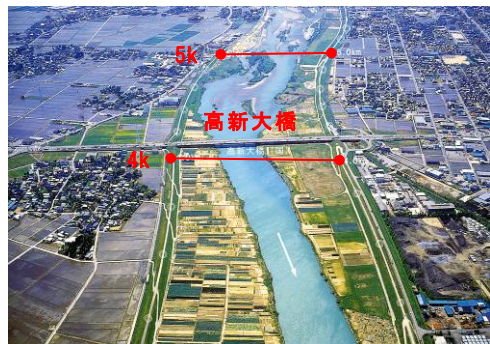
扇頂部より庄川下流部を望む



■ 庄川流域断面図（写真(上)A-A'断面）



庄川の様子（平成11年5月時点）



3) 主な災害

庄川流域の年平均降水量は上流部で約 3,200mm であり、洪水要因の多くは、8 月～10 月の台風がもたらす豪雨によるものである。

庄川における主要洪水の降雨、洪水及び被害の状況を以下に示す。

主要洪水一覧表

年月	要因	被害概要
明治 29 年 7 月	不明	13 万立方尺／秒 (約 3,600m ³ /s) 【大門地点】 数箇所破堤 流出家屋 248 戸、浸水家屋 2,605 戸、浸水面積 180ha
明治 32 年 9 月	不明	浅井村(現射水市)にて堤防決壊 田地 30ha 流失 新湊(現射水市)にて人家 1,719 戸浸水、橋 2 本落橋
明治 43 年 9 月	不明	射水郡、東砺波郡、西砺波郡にて 1,163ha の 氾濫となった
昭和 9 年 7 月	不明	最大流量約 3,300m ³ /s 【小牧推定】を記録。 浅井村(現射水市)にて堤防決壊し射水郡の 大半が浸水。死者 20 名、負傷者 240 名、流 失家屋 94 棟、民家破損 5,418 棟、浸水家屋 4,009 棟、田畑冠水(田 3,986ha、畑 182ha)
昭和 34 年 9 月	台風 15 号	伊勢湾台風による洪水 流量：1,906 m ³ /s 【大門】
昭和 36 年 9 月	台風 18 号	第二室戸台風による洪水 流量：1,457 m ³ /s 【大門】
昭和 50 年 8 月	台風 6 号	流量：1,289 m ³ /s 【大門】 家屋 13 棟浸水、農地・宅地 1ha 浸水
昭和 51 年 9 月	台風 17 号	流量：2,646 m ³ /s 【大門】 加越能鉄道庄川橋梁落橋 家屋 8 棟流失、42 棟浸水、農地宅地 11ha 浸水
昭和 58 年 9 月	台風 10 号	流量：1,674 m ³ /s 【大門】 家屋 15 棟浸水、農地宅地 14ha 浸水
昭和 60 年 6 月	梅雨前線	流量：1,210 m ³ /s 【大門】 家屋 9 棟床下浸水、農地宅地 16ha 浸水
平成 16 年 10 月	台風 23 号	流量：3,396 m ³ /s 【大門】

出典：富山工事事務所六十年史他

昭和9年7月洪水



7月11日 太田橋流出

庄川上流域で未曾有の豪雨となり11日に最大流量12万1千立方尺/秒（小牧地点：3,361m³/s）（推定）を記録し、浅井村（現射水市大門町）で堤防が決壊し射水郡の大半は大湖と化した。



7月14日 大門町（現射水市）島（庄川右岸）より庄川方面





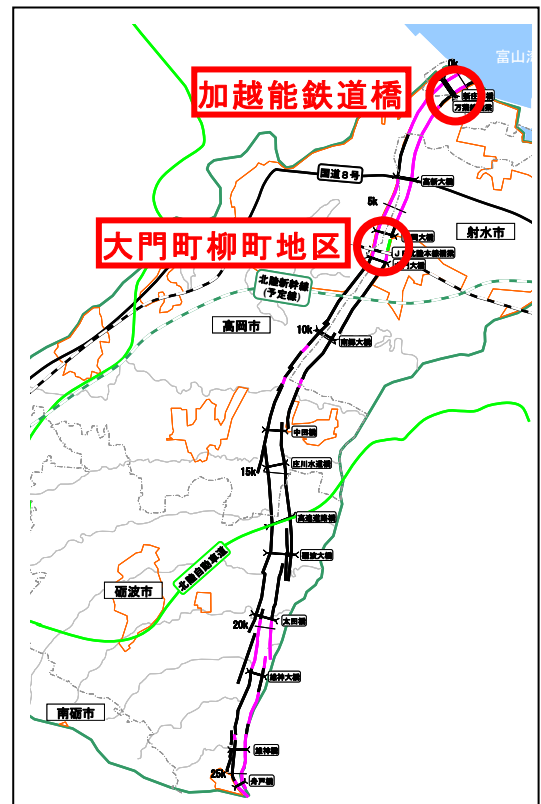
大門町(現射水市)柳町地区の浸水状況

台風17号による洪水で、大門地点での流量は $2,646\text{m}^3/\text{s}$ を記録した。



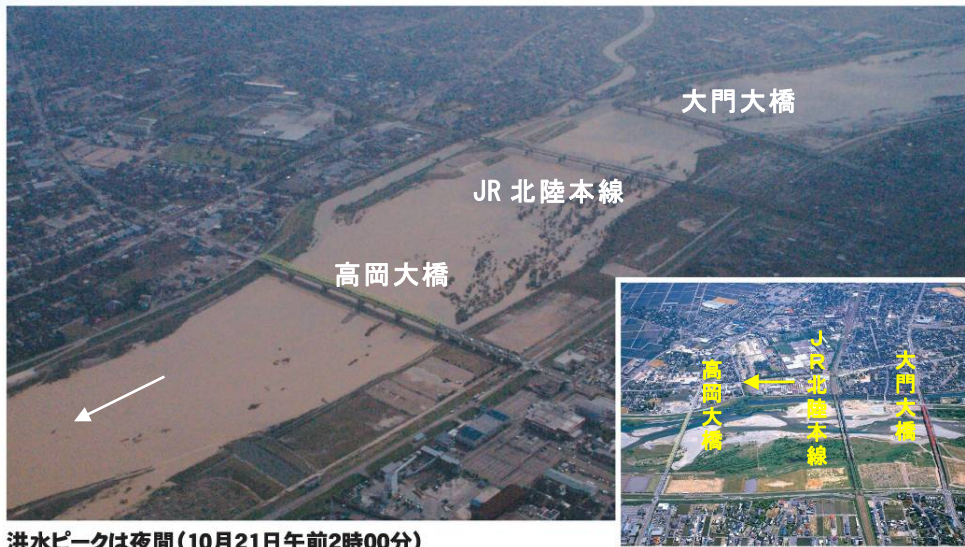
加越能鉄道落橋

富山新聞
(昭和51年9月11日)



平成16年10月洪水

台風23号による洪水で、大門地点で観測史上最高水位 7.69m（危険水位 7.01m）及び最大流量 3,396 m³/s を記録。



洪水ピークは夜間(10月21日午前2時00分)



砺波市 庄川町金屋地先
洪水の激しい流れが水衝部に当たり、金屋地先では100mに渡って堤防護岸及び根固工が破壊された



砺波市 庄川町青島地先
洪水の激しい流れが水衝部に当たり、青島地先では280mに渡って堤防護岸及び根固工が破壊された



避難所・能町小学校に集まった住民約900名



高岡市・新湊市
（現射水市）・
大門町（現射水市）で避難勧告
を発令
（1,400世帯）

